

平成 21 年 4 月 22 日

各 位

北 海 道 銀 行

営業店端末更改に伴うセキュリティ向上について（お知らせ）

北海道銀行（頭取 堰八義博）では、MEJAR（三行共同システム）の平成 23 年 5 月稼動を目指し準備を進めておりますが、この一環として本年 6 月までに全ての営業店端末を更改いたします。これに伴い、ご利用いただいております各種預金通帳の高抗磁気化やキャッシュカードお申し込み時の暗証番号登録のセキュリティ強化などお客さまの「安全・安心」を向上させる取り組みを行なうことといたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業店端末の全面更改

(1) 新端末の特徴

横浜銀行が採用している端末と同一機種であり従来機種に比べ操作性の向上を図っております。具体的には、スタンドスキャナの活用による取引画面の自動表示機能、印鑑照合機能、伝票イメージの事務センターへの自動転送機能等を備えております。

(2) 更改台数

1,113 台

(3) 更改スケジュール

本年 6 月末までに完了いたします。

2. 預金通帳の高抗磁気化

通帳の磁気ストライプの記録内容は、ハンドバックの留め金や携帯電話等、日常生活に存在する磁力の影響で壊れることがあり、記録内容を読み取りできなくなることで ATM での通帳記帳等のお取引ができなくなることがありました。このような不都合を解消しお客さまに安心して通帳をご利用いただくため、営業店端末の更改に合わせ、通帳の磁気ストライプを高抗磁気化し磁気ストライプが壊れにくい通帳のお取り扱いを開始します。また、6 月末までに当行本支店のうち 77 ケ店に通帳繰越機を新設いたします。

3. キャッシュカード暗証番号登録のセキュリティ強化

新規にキャッシュカードを作成する場合の暗証番号登録は、申込書に記載いただいた暗証番号を当行の担当者がシステム登録することとしておりましたが、営業店端末の更改に合わせ、お客さまが直接入力操作を行なう方法に変更いたします。これに伴いキャッシュカード暗証番号登録のセキュリティが一層強化されることとなります。

以上